

報道関係者 各位

佐々木蔵之介ひとり芝居 ヨナ-Jonah

東京芸術劇場×ルーマニア／ラドゥ・スタンカ国立劇場国際共同制作
佐々木蔵之介ひとり芝居『ヨナ-Jonah』、ルーマニアで初日開幕!!
満場の観客が息をのんだ舞台、東欧ツアーに発進!!



Photo TNRS : ALEXANDRU CONDURACHE

2025（令和7）年5月21日（水）～22日（木）
ルーマニア／ラドゥ・スタンカ国立劇場 ほか東欧ツアーあり

主催：ラドゥ・スタンカ国立劇場

共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

助成： 文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流））
独立行政法人日本芸術文化振興会、JTI, Lexus

国際移動協賛：全日本空輸株式会社  Inspiration of JAPAN

企画制作：ラドゥ・スタンカ国立劇場、東京芸術劇場

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場（東京都歴史文化財団）事業企画事業第二係：

内藤 minako-naito@tokyo-geigeki.jp / 吉田 naomi-yoshida@tokyo-geigeki.jp

TEL : 03-5391-2115 / 広報 pr@geigeki.jp

佐々木蔵之介ひとり芝居『ヨナ-Jonah』 ルーマニア公演初日開幕 プレスリリース

東京芸術劇場とルーマニア／ラドゥ・スタンカ国立劇場の共同制作による新作、佐々木蔵之介一人芝居「ヨナ」が現地時間5月21日（水）19時、ルーマニア・シビウ市のラドゥ・スタンカ国立劇場で無事開幕した。世界初演となった本日、満場の観客は、佐々木蔵之介の渾身の演技を息をのんで見守った。本作『ヨナ-Jonah』はルーマニアの国民的詩人マリリン・ソレスク（1936-1996）の代表作で、旧約聖書の聖人ヨナの逸話を題材としている。ヨナは漁師で預言者。神に背いて、鯨に飲み込まれ3日の後にその腹から生還した人物だ。この戯曲を、現代ルーマニア演劇界の巨匠演出家で、ラドゥ・スタンカ国立劇場が毎年6月に開催するシビウ国際演劇祭で数々のヒット作を放つシルヴィウ・プルカレーテが演出した。

佐々木とプルカレーテは、2017「リチャード三世」、2022「守銭奴」（いずれも東京芸術劇場制作）でタッグを組み、人間の暗部に深く迫りつつもユーモアにあふれる優れた舞台成果を残した。佐々木はプルカレーテとの作業を「今までの演劇体験の中で最も楽しかった」と振り返り、プルカレーテも佐々木の発想の豊かさと身体能力の高さに大いに刺激を受けた。東京芸術劇場とラドゥ・スタンカ国立劇場は、佐々木とプルカレーテの信頼関係をさらに発展させ、国際ツアーに出せる作品の共同制作に取り組むことで合意した。日本、ルーマニア双方の国の戯曲を検討したところ、プルカレーテより、敬愛するソレスクの作品「ヨナ」の提案があったことにより、本作の上演が実現した。

佐々木は4週間の稽古期間、これまでに経験したことのない詩的な表現に向き合ったが、名匠プルカレーテの手により、聖書のキャラクターの逸話が、絶望的な状況に置かれた小さな個人が最後まで生き抜く道を探すというドラマに生まれ変わり、現代世界で起こっている様々な困難の下で抑圧される個人へのエールともいえる作品に仕上がった。それにこたえて佐々木も、ある時は静かに、ある時は激情を持って台詞を伝えた。ルーマニアの人々にとって、日本人俳優が演じることにより、自分たちの民族史に新しい見方を発見する機会になったようで、感動で目を潤ませる観客の姿も見受けられた。初日公演のカーテンコールは4回に及び、スタンディングオベーションで迎えられた。

満場の観客から大きな拍手を浴びた佐々木は、

「今日の初日をこのように迎えられて、本当にうれしかったです。ルーマニアでの仕事は刺激的で、日本でならスタッフにお任せしてしまうようなことにも自分の意見を述べ、普段と違う流れの仕事でした。今回は実際に上演する劇場で2週間以上稽古するという贅沢な環境でそのまま公演に臨めたので、舞台にすっかりなじみ、空間をしっかりと把握して演じることができました。初日も、稽古の時と変わらず、ただそこにお客様が入っただけ、というくらい安心して演じられました。自分の芝居を字幕で見てもらうのは初めての経験でしたが、大きな拍手を頂きほっとしています。この後、ヨーロッパ5都市のツアーにでますが、それぞれの都市でのお客様との出会いを楽しみにしています。」と述べている。

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場（東京都歴史文化財団）事業企画事業第二係：

内藤 minako-naïto@tokyo-geigeki.jp / 吉田 naomi-yoshida@tokyo-geigeki.jp

TEL：03-5391-2115 / 広報 pr@geigeki.jp

本作品は、シビウ公演の後、ブダペスト、クルージュ・ナポカ、ブカレスト、キシノウ、ソフィアを回り、6月26日（木）にはシビウ国際芸術祭で上演される。日本公演は、舞台芸術祭「秋の隕石 2025 東京」芸術オータムセレクションとして10月1日（水）プレビュー公演／10月2日（木）～13日（月・祝）まで東京芸術劇場 シアターウエストでの公演のあと、金沢・松本・水戸・山口・大阪をツアーする。

プロフィール

演出：シルヴィウ・プルカレーテ *Silviu Purcarete*



1950 年生まれ。

ヨーロッパ三大演劇祭の一つであるルーマニア・シビウ国際演劇祭でのプルカレーテ演出の大スペクタクル『ファウスト』は、毎年のハイライトとして話題を集めている。また、その演出作品は、エディンバラやアヴィニョン、メルボルン、モントリオールなど、世界中の演劇祭に招聘されている。フランス政府から芸術文化勲章シュバリエ、ルーマニア政府から国家勲章を受章。演劇賞では、エディンバラ・フェスティバル批評家最優秀作品賞、ピーター・ブルック賞、ダブリン演劇祭批評家賞など。

出演：佐々木蔵之介 *SASAKI Kuranosuke*



京都府出身。

大学在籍中、劇団「惑星ピスタチオ」の旗揚げに参加。退団後、テレビ・映画・舞台など数多くの作品に出演。近年の主な出演作に、ドラマ『マイホームヒーロー』『グレートギフト』、大河ドラマ『光る君へ』、映画『シャイロックの子供たち』『ゴジラ-1.0』『映画 マイホームヒーロー』、舞台『君子無朋』『破門フェデリコ〜くたばれ十字軍〜』など。

受賞歴に、第17回読売演劇賞 優秀男優賞、第38回日本アカデミー賞 優秀主演男優賞、第43回日本アカデミー助演男優賞など。佐々木蔵之介ファンサイト「[TRANSIT](#)」

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場（東京都歴史文化財団）事業企画事業第二係：

内藤 minako-naïto@tokyo-geigeki.jp / 吉田 naomi-yoshida@tokyo-geigeki.jp

TEL：03-5391-2115 / 広報 pr@geigeki.jp

東欧ツアースケジュール

<ルーマニア／シビウ プレミア>

期間：2025 年 5 月 21 日（水）19:00、22 日（木）19:00

会場：ラドゥ・スタンカ国立劇場

<http://www.tnrs.ro/>

<ハンガリー／ブダペスト マダッチ国際演劇会議>

期間：2025 年 5 月 24 日（土）19:00

会場：ハンガリー国立劇場

<ルーマニア／クルージュ・ナボカ>

期間：2025 年 5 月 27 日（火）19:00

会場：ルチアン・ブラガ国立劇場

<ルーマニア／ブカレスト>

期間：2025 年 5 月 30 日（金）19:00、31 日（土）19:00

会場：オデオン劇場

<モルドバ／キシナウ>

期間：2025 年 6 月 3 日（火）19:00

会場：サティリクス・イオン・ルカ・カラジャーレ国立劇場

<ブルガリア／ソフィア>

期間：2025 年 6 月 7 日（土）16:00 & 21:00

会場：イヴァン・ヴァソフ国立劇場

<ルーマニア／シビウ国際演劇祭>

期間：2025 年 6 月 26 日（木）20:00

会場：ラドゥ・スタンカ国立劇場

<http://www.sibfest.ro/>

<お問い合わせ先>

東京芸術劇場（東京都歴史文化財団）事業企画事業第二係：

内藤 minako-naito@tokyo-geigeki.jp / 吉田 naomi-yoshida@tokyo-geigeki.jp

TEL : 03-5391-2115 / 広報 pr@geigeki.jp

佐々木蔵之介ひとり芝居 『ヨナ-Jonah』 日本公演概要

舞台芸術祭「秋の隕石 2025 東京」 芸劇オータムセレクション

佐々木蔵之介ひとり芝居 『ヨナ-Jonah』

【日程】 2025 年 10 月 1 日（水）プレビュー公演 / 10 月 2 日（木）～13 日（月・祝）

【会場】 東京芸術劇場 シアターウエスト

【スタッフ】

原作 | マリン・ソレスク

翻訳・修辞 | ドリアン助川

演出 | シルヴィウ・プルカレーテ

舞台美術・照明・衣裳 | ドラゴッシュ・ブハジャール

音楽 | ヴァシル・シリー

照明コーディネーター | 吉嗣敬介

音響 | 小内弘行

ドラマターグ | 山田カイル

通訳 | 加藤リツ子

舞台監督 | 浦弘毅

【出演】

佐々木蔵之介

【チケット発売日】

一般発売 2025 年 7 月 18 日（金） 他プレイガイド等の先行販売あり

【お問合せ】

東京芸術劇場（代）

03-5391-2111（土日祝日を除く 9:00-17:00）

*9/6（土）より休館日を除く 9:00~22:00

東京芸術劇場ボックスオフィス *6/23（月）より再開

0570-010-296（土日祝日を除く 10:00-17:00）

*9/6（土）より休館日を除く 10:00~19:00

公演詳細 WEB サイト <https://www.geigeki.jp/performance/theater377/>

【国内ツアー】

＜水戸＞

2025 年 11 月 1 日（土）、2 日（日） 水戸芸術館 ACM 劇場

＜山口＞

2025 年 11 月 8 日（土）、9 日（日） 山口情報芸術センタースタジオ A

＜大阪＞

2025 年 11 月 22 日（土）～24 日（月・休） クールジャパンパーク大阪 TT ホール

他、金沢、松本でも公演あり。

＜お問い合わせ先＞

東京芸術劇場（東京都歴史文化財団）事業企画事業第二係：

内藤 minako-naito@tokyo-geigeki.jp / 吉田 naomi-yoshida@tokyo-geigeki.jp

TEL : 03-5391-2115 / 広報 pr@geigeki.jp